



2017年10月31日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

ファンドのデータ

基準価額	14,886円
純資産総額	4,404百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧下さい)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	84.1%	▲11.2%
現金等	15.9%	11.2%
構成銘柄	50社	▲4社

基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.48%	8.58%	14.48%	21.23%	29.21%	48.86%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

10月の株式市場は月を通して堅調な推移となりましたが、今後は様々なリスクに警戒が必要であると思っています。まず、米国の大統領選挙と議会の動向、イエレン議長を含むメンバーが大きく入れ替わる来年のFOMCの金融引締めスタンスです。欧州ではポピュリズムの高まりが気にかかります。そして中国では習近平新体制での政治経済の動向です。最後に極めて深刻かつ重大なリスクと言えるのが、トランプ大統領のアジア歴訪後に北朝鮮が軍事行動を再び起こすというリスクです。絶対リターンを追求する当ファンドにおいて、株式等組入比率をフルインベストメントにしていないのはこの最悪な事態に備えてのことです。今後も警戒感を高めてファンドを運用していくたいと思います。

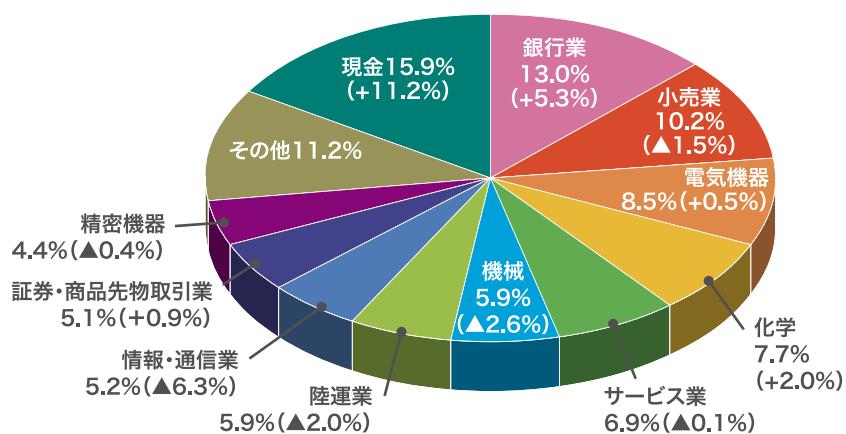


チーフポートフォリオマネージャー
糸島 孝俊

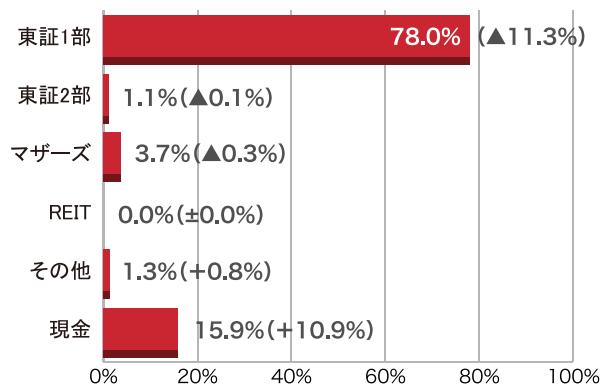
市場概況

10月上旬は、米ISM製造業景況指数が約4年ぶりの高水準となったことなどを受けた米株高や円安などを好感し、株式市場は上昇してスタートしました。中旬は衆院選が与党に優勢との見方や、10日公表のIMF(国際通貨基金)世界経済見通しの引き上げなどを背景に上昇が続きました。下旬にかけても、22日投開票の衆院選で与党が想定以上の大勝したことによる金融政策への継続期待、及び米税制改革への期待感などから、日経平均は24日に16営業日連続上昇の過去最高連騰記録を達成しました。その後も月末にかけて、決算発表で好業績が期待できる主力大型株などが物色され、上昇基調を維持しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

◎主な投資行動

月初に株式等組入比率をほぼ100%にした後、株式市場が好調に推移する中、中旬まで維持しました。中旬から10月22日衆議院選挙の投開票翌日にかけて、月初から特に堅調に推移していた情報・通信業や機械などを一部売却することで徐々に同比率50%台まで大幅に引き下げ(現金比率は引き上げ)ました。24日以降、衆院選における与党の想定以上の大勝により、黒田日銀総裁の続投と金融緩和策の継続期待の高まりを受けて、月末にかけて相対的に出遅れていた主に銀行業を大きく買い増しました。10月末の株式等組入比率を高位ではなく、84.1%にした理由の一つに、北朝鮮による軍事行動の再開リスクがあります。また欧米での政治リスク及び、イエレン議長退任後のFOMCの金融引締め早期化リスクなどは、急騰した株式市場において下振れ要因になる可能性があると考えています。

◎ファンド月間リターンとその要因

10月の月間リターンは3.48%の上昇となりました。主な要因は前月までに組入比率を引き上げていた電気機器や機械が上昇したことや、今月に組入比率を引き上げた銀行業が上昇したことなどによるものです。当ファンドは絶対リターンを重視しており、ベンチマークは設けていません。参考として、TOPIXは5.45%上昇、日経平均は8.13%上昇しました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

II 組入上位5銘柄の紹介

(2017年9月29日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
ヤマトホールディングス		「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待される。
陸運業	5.4%	
アスクル		法人向けサイトの「アスクル」を主力に、一般消費者向け「ロハコ」などインターネット通販を展開。社名の由来は“明日来る”。オフィスに必要な事務用品から、生活消耗品、作業・研究用品などすべての仕事場に必要なモノやサービスを届ける。当日配送も可能。セブン&アイHDとネット通販事業強化で提携。
小売業	5.1%	
ソニー		井深大氏と盛田昭夫氏によって設立されたベンチャー企業が前身。エレクトロニクス事業を出発点に、音楽・映画、ゲーム、金融と企業規模が拡大するなか、創業精神は失われ、国際競争力も大きく低下。現経営体制下で企業体質の変革が進みつつある。
電気機器	5.0%	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズム」と「チームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	4.7%	
セブン&アイ・ホールディングス		変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指す。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現は、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」。
小売業	4.5%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

II 未来予想図～20-20vision～

10月22日、衆議院選挙が実施され、安倍政権の継続を掲げた自民党が単独で280超の議席を得て圧勝しました。連立を組む公明党と合わせ、安倍晋三首相(自民党総裁)の第4次政権は、憲法改正の国会発議に必要な3分の2の310議席を上回る313議席となりました。立憲民主党は躍進し野党第1党となった一方、希望の党は議席獲得数が伸び悩み、「安倍1強」状態が継続されることになりました。

さて、佐藤栄作内閣以降に3年間以上持続した政権は、「佐藤栄作政権2798日間」、「中曾根康弘政権1806日間」、「小泉純一郎政権1980日間」、その後に「安倍晋三政権1777日間(07/11/6時点)」が続きます。仮に2018年9月に実施される自民党総裁選で安倍自民党総裁が再任され、任期満了まで総理大臣を努めた場合、在職日数3201日となり、佐藤政権を上回ることになります。長期政権を維持するには、衆議院での盤石な与党議席数を獲得することに加えて、内閣支持率も相対的に高位を維持することが必要となります。それを実現してようやく、安定した政権運営が可能となり、既得権益に反する構造改革などの思い切った政策を実現することができるのです。例えば、中曾根政権においては、専売公社や電電公社、及び国鉄の民営化、小泉政権下では道路公団や郵政民営化などがある有名です。

これまで安倍政権は、アベノミクス「3本の矢」における「金融緩和」、「財政政策」、「成長戦略」によって持続的な経済成長の実現を掲げ政策運営を行ってきました。そして日本企業の「稼ぐ力」強化の重要施策として、スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの適用、GPIF改革などが実施され、株式市場には好評価を得ているようです。結果的に、就任日(2012年12月26日)から直近(2017年11月6日)まで日経平均株価は約120%上昇しています。11月1日、安倍首相は「人づくり革命」と「生産性革命」を車の両輪として税や予算などの政策を総動員していくことを表明しました。任期後半にかけて憲法改正を集大成にしたいかは不明ですが、前向きに考えているようです。前述の長期政権(佐藤政権、中曾根政権、小泉政権)において、首相退任直前に実施された衆議院選挙投票日から退任日までの日経平均株価の平均騰落率は、36.3%上昇でした。過去の事例に倣えば、最後の選挙から首相退任までも株価上昇を期待できるかもしれません。



シニアアナリスト兼
ポートフォリオマネージャー
鎌田 聰

II コモンズPOINTからのお知らせ

◎第32回全日本視覚障害者柔道大会

日程: 11月26日(日) 時間: 10:00~14:00 (9:00~受付)

場所: 講道館7階大道場(東京都文京区春日1-16-30) 入場料: 無料

今年で32回目を迎える年に一度の全国大会! POINTでの今期応援期間もいよいよ終わりが近づいてきました。

ぜひ講道館の大道場で行われるこの大会で、選手たちの勇姿を応援ください。また、遠方の方は、試合の模様が FRESH! by AbemaTVでも生放送される予定ですので、ぜひご覧ください。



◎IBSA柔道ワールドカップご報告

10月9日、ウズベキスタンスポーツコンプレックス(ウズベキスタン・タシュケント市)で開催されたワールドカップで

3選手が銅メダルを獲得しました。北薙 新光(81kg)、半谷 静香(48kg)、小川 和紗(63kg)(敬称略)

結果はこちらからご覧いただけます。

http://judolive01.lb.judobase.org/www.judo-world.net/world/ibsa/2017_tashkent/tta_menu.php?modus=1024&sprache=english (体重、選手名をクリックすると詳細も見ることができます)

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

II お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧下さい。

<http://www.commonst30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
「つみたてを活用した 「普通の人」のための資産づくりのポイント (ファンド説明会)	11月8日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月18日(土)	14:00~16:00	
	12月5日(火)	19:00~20:30	
	12月16日(土)	14:00~15:30	
	12月27日(水)	19:00~20:30	
「つみたてNISA」も徹底解説! 今度こそ始める!つみたて投資(初心者編)	11月29日(水)	19:00~20:30	
	12月13日(水)	19:00~20:30	
【お子様連れ】「つみたてNISA」も徹底解説! 今度こそ始める!つみたて投資(初心者編)	11月29日(水)	13:30~15:00	
	12月18日(月)	13:30~15:00	

◎糸島孝俊メディア出演情報

今後の出演情報は、弊社ウェブサイトのお知らせ欄やコモンズ投信のFacebookにてお知らせして参ります。ぜひご注目下さい。

メディア	日付	時間	備考
BSジャパン「日経プラス10」	11月17日(金)	22:00~23:00	メインゲストとして出演
TV東京「モーニングサテライト」	11月28日(火)	5:45~7:00	6:30頃「本日の株式見通し」に出演

◎お知らせ～「贈る喜び＆つみたて」2つの嬉しいキャンペーンスタート!～

「贈る喜び＆つみたて」キャンペーンでもれなく500円の図書カードプレゼント!

<https://www.commonst30.jp/files/uploads/campaign-chirashi-k4.pdf>

年末年始恒例「贈る喜びキャンペーン」が11月よりスタート。すでにお口座をお持ちの方から、ご紹介いただいたご家族・ご友人様が口座開設をしてつみたてプランを同時申込すると、両者にもれなく500円の図書カードをプレゼントいたします。また、同期間でつみたてキャンペーンも実施します。すでに当社で口座をお持ちの方が総額3000円以上の新規つみたて・もしくは増額をされた場合も、プレゼントの対象となります。税制優遇制度であるNISA、つみたてNISA、ジュニアNISAも同時受付可能です!

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SB-I証券 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行 登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社 金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○		
宇都宮証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○				

II ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

II ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客様（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

II お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	（コモンズ投信の場合）1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	（コモンズ投信の場合）1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金とともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター（受付時間／平日 午前9時～午後5時） 03-3221-8730	■ウェブサイト http://www.common30.jp/
---------	--	--

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘的目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階